

「*Choju*」だより

株式会社エース・E&L
代表取締役社長 津田 博通

集音器「*Choju*」をご愛好いただき、誠に有難うございます。2016年11月より発売を開始致しました「*Choju*」は遅い歩みながら着実に一步一步前進しております。

約9ヶ月の販売活動で巡り合った、嬉しいお話を皆様にご紹介致します。

1. 老人ホームで寝たきりの92歳のおばあさまに聞こえが戻ったお話です。

Vol.01の続きです。92歳のおばあさまは、その後ベッドからテレビが見れるように音声をBluetoothで送信する方式を導入しました。この為テレビの音声が自然に聞こえ、より楽しくテレビを見れるようになりました。電源は当初リード線をコンセントから這わせましたが、掃除の邪魔になったりする問題があり、ベッドに固定できるバッテリーを購入して対応致しました。おばあさまは次第に聞こえが回復し、25～30cm位の距離での会話を「*Choju*」を付けずにできる様になりました。お年寄りの方でも良い環境を与えると聞こえが回復するという実例です。歳だから聞こえなくてもいいというお考えの方は、是非考え方を改めて頂きたいと思えます。

2. 盛岡の女性のお話です。

この方は「*Choju*」が日刊工業新聞に載った記事を見てご購入されました。私は6月6日に使用状況を確認する為に盛岡を訪問致しました。66歳の女性の方ですが、音は聞こえても言葉が分からない状況です。色々試しましたが、解決策は未だ見つかっていません。この方は、5年位前に突発性難聴になり病院で色々治療を受けましたが、回復する事がなく聞こえが戻りません。話をお聞きしていると、この方はボランティア活動に没頭しており、1日の生活にゆとりがなくテレビも見ず旦那様とも話をせず、朝から晩までストレスの塊のような生活をしておられました。一先ず毎日「*Choju*」を使用してテレビを見ながらゆったりした時間を1時間位取るようお願いしております。現在「*Choju*」の周波数特性を変えた試作品を検討中で、いつかこの女性に聞こえを戻したいと技術陣が頑張っています。

3. 104歳のおばあさまのお話です。

私の囲碁仲間のお母様で、104歳にして自分で歩き自分で食事ができる素晴らしいおばあさまのお話です。このご家族は皆長寿だそうです。おばあさまの問題は耳が聞こえない事だけですが、今まで特別問題がない為耳が聞こえない問題に対処していなかったようです。私が92歳のおばあさまの話をした所、試聴したいという事で「*Choju*」をお貸し致しました。先日お会いして状況を確認した所聞こえたそうです。ただ片方の耳が聞こえにくいようで、調整方法を教えて近いうちに田舎に行き試すそうです。人の話が聞こえ笑いが戻ると、人は元気を取り戻します。

4. 販売網の整備

「*Choju*」は特別な販売網もない状態から、無手勝流で販売を開始致しました。次第に聞こえの良さが口コミで伝わり、購入した方が新しいお客さんを紹介してくれるようになりました。神奈川県内の街の電気屋さん（電気商業組合）が、6月より正式に販売を始めました。8月末には関東甲信越（東京、神奈川、千葉、埼玉、栃木、群馬、山梨、長野、新潟）の電気商業組合が販売を開始する予定です。次は名古屋、大阪エリアがターゲットです。

以上